

平成 24 年度自然観察会実施報告

『寒い冬こそ野鳥を探してウォッチング』

- ◆実施日時：平成 25 年 1 月 26 日（土）9：30～13：30
- ◆場 所：下ノ加江海岸～下ノ加江川河口（高知県土佐清水市下ノ加江）
- ◆講 師：濱田 哲暁 氏（日本野鳥の会）
- ◆参 加 者：9 名（募集定員 20 名）
- ◆天 候：晴れ時々しぐれ（強風）
- ◆内 容：西南鳥獣保護区である下ノ加江川の河口付近から海岸にかけて、寒い冬にやってくるカモ類や木々の間に身を寄せる野鳥たちの姿や声、様子を観察していきました。

◆スケジュール

- 9:30～ 開会
- 9:45～ 双眼鏡の使い方説明と練習
- 10:00～ 水鳥・野鳥観察（散策）※途中休憩
- 11:45～ 昼食（下ノ加江海岸）
- 12:45～ まとめ「冬の野鳥」についてのお話
- 13:15～ 閉会・アンケート記入
- 13:25～ バス移動・解散

◆実施風景



●開会式

講師の挨拶と主催者の小林自然保護官の挨拶。



●双眼鏡の使い方説明

野鳥観察では必須アイテム双眼鏡に慣れるため練習しました。



- もう一つのアイテム望遠鏡の紹介
あまり動かない鳥を大きくじっくり見るときは便利な道具です。



- 双眼鏡と望遠鏡の違いを体感
双眼鏡の練習をしつつ、望遠鏡との見え方の違いを体験しました。



- 図鑑で確認
練習中にやってきた野鳥を双眼鏡で観察し、図鑑でも確認しました。



- 野鳥観察
前方の上空にノスリが出現、双眼鏡で動きを追いながら観察しました。



- 野鳥観察
身近な鳥も肉眼で見ると双眼鏡や望遠鏡で見るとはだいぶ違います。



- 野鳥観察
身近な鳥もよく観察すると、数種類います。その違いを図鑑で見えました。



●畑に出てくる野鳥観察
畑の脇道を通って河口を目指しました。



●河口で水鳥観察
カモやシギ、カモメの仲間などを見ていきました。



●砂浜の生きもの痕跡観察
イタチの足跡や砂浜にあったモグラ塚とトンネルを観察し探ってみました。



●鳥のお話
寒波避難のため、マイクロバス内で今日見られた鳥等のまとめをしました。

◆観察種リスト（21種：目視・鳴き声確認によるもの）

- | | | |
|---------|-------------|------------|
| ・アオサギ | ・コガモ | ・ハシボソガラス |
| ・アオジ | ・ジョウビタキ（♂♀） | ・ヒドリガモ（♂♀） |
| ・イソヒヨドリ | ・シロハラ | ・ヒヨドリ |
| ・ウグイス | ・スズメ | ・マガモ |
| ・ウミネコ | ・セグロカモメ | ・メジロ |
| ・カワウ | ・ドバト | （五十音順） |
| ・カワラヒワ | ・トビ | |
| ・キジバト | ・ノスリ | |